

2011-07-26

## 〔質問〕

(1) 「新飛行ルート」に変更したことについて、どうお考えですか

- (1)賛成 (2)反対 (3)どちらでもない  
理由 「國防委員會の強化、有志團體における統空機の集会者による影響の分散等  
のため不可欠である。」との國の答えは、安全地帯が設立されるべきである。引進統一  
の本意を理解して、適用に必要な手筋を打つに至ります。

(2)航空機からの部品落下やバードストライク(鳥との衝突)、更に墜落事故の危険があります。

「原則コンビナート上空は飛ばさせない」という1970年の国と市の約束(「通知」)を市が容認して、破棄しました。これは正しい判断だったとお考えですか。

- ①正しい ②まちがっている ③どちらでもない  
理由 (この講演は、おける航路に於ける災害の防止に係る連絡会)を  
離れて、防災対策の連携強化に努めています。当会の取組実績をしっかりと  
安全運営・防災対策の実践を軸に複数を行なって行なうべきと考えます。

(3) **市** 川崎市の「防災対策計画」に照らして、航空機事故への対応が必要だと思いますが、すぐに「被害想定」をつくるべきだと思います。どうお考えですか。

【県】神奈川県の「石油コンビナート等防災計画」に照らして、

(以下同文)



(4) 南風時、午後3時から7時までの間、航空機が爆音をとどろかせて飛んでいます。大師地域を中心に多くの住民から「何とかしてほしい」という声が上がっています。住民の声を直接聞く(教室型)「住民説明会」をすぐにひらくべきだと思いますが、どうお考えですか。

- ①はい ②いいえ ③どちらでもない  
理由 (大勢の会員が連絡機に対する協議会が設置され、(大師地区25町内会長)連絡員が  
おもてあてを明確に定められておりまます。おおむね毎月1日より  
大師地区のB種運送路を踏破して、陸上を通過する時、荷役引き上げ  
料金を引出し、馬車荷影等を囲る事の希望代理はいた。

(5) 子どもたちへの影響が心配です。騒音やコンビナート事故の危険に日々さらされることは、川崎市の「子どもの権利条例」(安心して生きる権利)に反していると思いますが、どうお考えですか?

- ①反している ②反していない ③どちらでもない  
理由 (当該地区で働き、憩い、生活しておられる方々の「安心して生える権利」を  
堅持すべきであり、子ども達だけの問題ではありません。今後とも「避難・  
復旧支援の連携対策やコンピュート上空航行に關する安全措置を始め、  
振動影響の連携対策などを含め、より多く心をこめて参ります。  
以上